

- 左図上段 : 出入口姿図
- 中段 : 側面図
- 下段 : 平面図
- 右図上段 : 縦断面
- 下段右 : 煙道断面
- 下段左 : オンドル〔床暖房〕断面

簡易農家建築設計図（「農政 農村整備関係」【S20 - 21】）

太平洋戦争後、朝鮮や台湾といった外地からの食糧移入が途絶するとともに、国内の失業者は軍需関係者をはじめとして約1,000万人、戦地などから帰還した復員者は約700万人にも上りました。政府は、食糧難と失業者などの急増に対応するため、集団で帰農させる計画を策定しました。宮城県では、県が「集団帰農の契^{しおり}」を作成して「帰農者」を募集し、仙台市やその周辺で入植が行われました。設計図の建物は、同じ簿冊に収められている「集団帰農の契」によると、七北田村（現、仙台市泉区）の未墾地を開拓するにあたって、「帰農者」に譲渡または貸付することを前提に設計されたものです。

【 】は、当館所蔵資料の整理番号を表しています。

公文書レポート

戦災復興と「学都仙台」
復活の萌芽

ワークス

当館収蔵資料の
検索方法

知っ得！情報

公文書レポート

戦災復興と「学都仙台」復活の萌芽

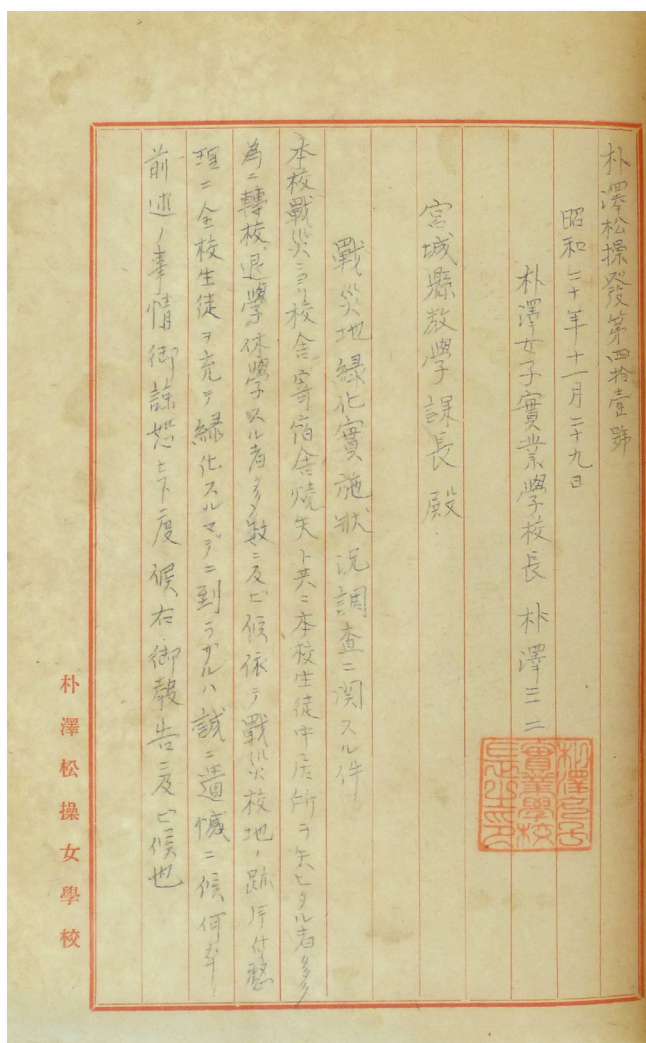
専門調査員 熊坂 大佑

本年度、宮城県公文書館では「空襲・占領・復興—太平洋戦争と戦災復興の記録—」と題した企画展を開催しました。本展示は、宮城県内各地での米軍機による“空襲”、戦後の連合軍の仙台駐留などの“占領”、空襲によって破壊された市街地の“復興”といった3つのトピックに関する資料を紹介しました。ここでは、企画展で触れることのできなかった、当時の学生・生徒が戦争とりわけ空襲により受けた影響や私立学校の戦災復興に関する資料を紹介します。なお、『宮城県公文書館だより』第39号には、宮城県における連合軍の駐留と占領下の陸上交通政策に関する記事がありますので、あわせてそちらもご覧下さい。

1 「決戦」と学徒出陣・学徒動員

仙台は、旧制高等学校が東京に次いで2番目に、帝国大学が東京と京都に次いで3番目に置かれ、また、明治から大正にかけてさまざまないきさつをもった私立学校が林立したことから、「学都仙台」という表現が明治30年代後半以降に使われるようになりました。

しかし、太平洋戦争（昭和16年〔1941〕～20年〔1945〕）は多くの学生・生徒が学ぶ「学都仙台」に大きな影響を与えました。昭和18年（1943）10月、政府はそれまでの文系学生の徴兵猶予を停止し、陸海軍の部隊に入隊させ、彼らを戦場へと向かわせました（学徒出陣）。明治神宮外苑陸上競技場（現在の国立競技場）で行われた出陣学徒壮行会で行進する学徒の映像は有名ですが、仙台においても各学校で壮行会が行われていました。また、太平洋戦争が始まる前にも、すでに学生・生徒に授業を一部行わずに勤労作業をさせる学徒動員が始まっていました。昭和13年（1938）6月、文部省は夏期休業中の勤労作業（軍用品などの簡易な整備作業、簡易な土木作



「戦災地緑化実施状況調査ニ関スル件」【S20-21】

業)を設定し、翌14年3月に食糧や木炭の増産、飼料の開発といった勤労作業を正課、すなわち通常の授業時間に準じた扱いとしました。その後、正課のうち勤労作業の占める割合は年々増加し、太平洋戦争末期の昭和20年(1945)3月、政府は「決戦教育措置要綱」を閣議決定し、国民学校初等科を除く各学校の授業を1年間停止することとしました。

昭和20年(1945)7月10日未明、仙台は米軍機の空襲を受け、被災後の宮城県のまとめによれば被災者数5万7,335人、被災戸数1万1,936戸という被害でした。

「戦災跡地緑化所要労力調」(「農政、農村整備関係」【S20-21】)は、空襲を受けた仙台において食糧供給のための畑を開墾する「緑化」事業に従事させる「労力」(労働力)として「男女中学校学徒」と「国民学校高等科学童」を挙げており、もはや彼らが生徒などではなく一つの「労力」とみなされていた様子を色濃く残しています。

なお、緑化にあたっては、「仙台市戦災跡地緑化計画」(【S20-21】)に基づいて各学校に対し緑化する面積があらかじめ割当てられていました。それでは、各学校はどのように対処したのでしょうか。例えば、宮城野国民学校は、同校長が宮城県教学課長に宛てた昭和20年(1945)11月29日付報告書によると、元寺小路、日吉丁、東四番丁(いずれも現在の仙台駅周辺)の1,975坪(約0.7ヘクタール)の緑化を実施し、そのための動員人数はのべ5,700人と報告しています。しかし、「仙台市戦災跡地緑化計画」で同校は8,000坪を割当てられており、割当面積に遠く及びませんでした。また、^{ほうざわ}朴澤女子実業学校についても、同じく11月29日付報告書をみると、耕作面積として1,500坪(約0.5ヘクタール)を割当てられていましたが、「戦災ニヨリ校舎、寄宿舍焼失ト共ニ本校生

徒中居所ヲ失ヒタル者多ク為ニ転校退学休学スル者多数ニ及ビ候依テ戦災校地ノ跡片付整理ニ全校生徒ヲ充テ緑化スルマデニ到ラザル」(【S20-21】)とあるように、戦争の惨禍によって生徒たちが生活に困窮する中であって、割当面積は必ずしも達成されるものではありませんでした。

	動員学徒数(名)			計	
	国民学校	農業関係	農村地方	学徒数 (名)	備考
	高等科	中等学校	中等学校		
仙台市	3,414	817	7,365	11,596	大学高等ヲ含ム
石巻市	500		590	1,090	大学高等ヲ含ム
塩竈市	300		300	600	
その他の町村	45,983	1,935	8,514	56,432	
合計	50,197	2,752	16,769	69,718	

	責任面積(町)			計	
	国民学校	農業関係	農村地方	責任面積 (町)	備考
	高等科	中等学校	中等学校		
仙台市	43.0	23.0	189.0	255.0	大学高等ヲ含ム
石巻市	10.0		60.0	70.0	大学高等ヲ含ム
塩竈市	12.0		18.0	30.0	
その他の町村	2175.4	169.5	387.2	2732.1	
合計	2240.4	192.5	654.2	3087.1	

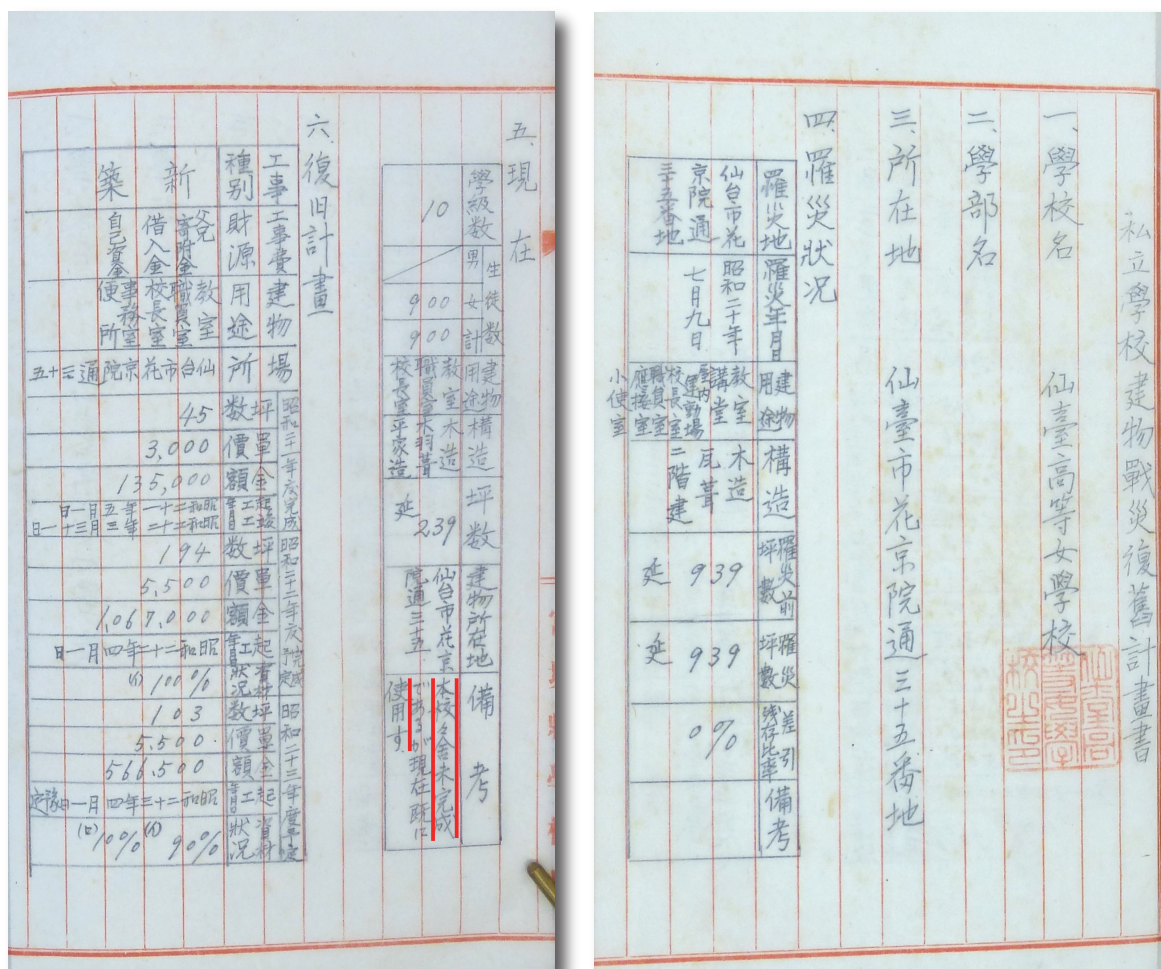
「食糧増産学徒動員開墾割当面積(昭和20.8.1)」【S20-21】

仙台市と石巻市は、東北帝国大学と旧制第二高等学校の学生を含む数字です。また、下の表の「責任面積」は開墾割当面積のことで、そのうち、「その他の町村」は県内16郡の開墾割当面積を集計したものです。1町はおよそ1ヘクタールにあたります。

また、昭和20年(1945)8月1日には、宮城県が食糧増産のために県内各都市の国民学校高等科(現在の中学校1、2年)をはじめとした生徒約7万人を動員し約3,000町(約3,000ヘクタール、広島県厳島とほぼ同じ面積)を開墾しようとして計画していたことが、「食糧増産学徒動員開墾割当面積」(【S20-21】)をみるとわかります。ただし、約2週間後に日本政府は連合国のポツダム宣言を受諾して敗戦が決定し、8月20日に宮城県は各学校に対して一部の学徒動員を中止するよう指示したものの、その翌月には、再び食糧増産などのために学徒動員が実施されたのでした。(『仙台市史 通史編8 現代1』2011年、『宮城県戦後開拓史』1990年)。

2 授業再開と学び舎の再建

兵士となった学生、食糧増産に従事した生徒の一部は、終戦後、徐々に「学都仙台」、そして母校へと戻るようになります。しかし、学生らを受入れるための肝心要である校舎などの教育施設は、空襲によって大小被害を受けており、急ぎその修繕ないしは新築をする必要に迫られました。公立学校はともかく、私立学校は、戦時中の学生・生徒の激減などによる経営悪化で、独自の財源をもって修繕などの費用をまかなうことは困難でした。このため政府は、昭和21年(1946)に都府県を通じて支援する低金利で償還期間の長い「戦災復旧貸付金制度」を設けました。しかし、貸付額の制限や戦後の物価高騰によって、いぜんとして教育施設の整備は私立学校の経営状況を圧迫しました。



仙台高等女学校の「私立学校建物復旧計画書」(【S23-2063】)

「私立学校施設設備整備国庫補助「私立学校施設設備(建物)戦災復旧費貸付関係」(【S23-2063】)には、県内の私立学校が貸付金を受けるにあたって宮城県に提出した「私立学校建物戦災復旧計画書」があり、そこから各校の教育施設の被災状況や復旧計画を知ることができます。例えば、現在の仙台市の錦町公園付近に所在した仙台育英中学(現在の仙台育英学園高校)は、校舎などが空襲によって焼失したため仙台市宮城野に移転を予定し、計画書には、この間、同市の長町小学校の一部を借りて授業を継続していると記載しています。また、現在の東北電力本店ビル付近に所在した仙台高等女学校(現在の仙台白百合学園)は同地に新しく校舎を建設する予定でしたが、同じく計画書には「本校々舎未完成であるが現在既に使用す」との記載があります。同校は終戦直後、すでに東六番丁小学校などを間借りして授業を再開していましたが、新校舎が完成するのを待たずに「未完成」の校舎を使ってしまうという、まさしく急ごしらえの状況であったことが伝わります。

この事例を含め、仙台空襲で被災した私立学校が提出した戦災復旧計画書による各校の被災状況をまとめると、下表のとおり、市街地に所在した私立学校はいずれも壊滅的な被害を受けたことがわかります。

学校名	被災場所	被災年月日	残存比率	新築・修繕等の別	備考
仙台高等女学校	仙台市花京院通 35	昭和 20 年 7 月 9 日	0%	新築	[年月日原文ママ (10 日の誤りか)]
東北学院中学校	仙台市東二番丁 40	昭和 20 年 7 月 10 日	0%	新築・修繕	全焼
梅檀中学	仙台市柳町通 5-1 仙台市荒巻西山 1	昭和 21 年 7 月 10 日	40%	新築	[年月日原文ママ (昭和 20 年の誤りか)]
仙台育英中学校	仙台市東三番丁 62	昭和 20 年 7 月 10 日	0%	新築 (移転)	全部焼失 [移転先: 仙台市宮城野原無番地]
常盤木学園高等女学校	仙台市元柳町 68	昭和 20 年 7 月 10 日	0%	新築 (移転)	[移転先: 仙台市小田原金剛院丁 28]
朴澤女子実業学校	仙台市本荒町 24	昭和 20 年 7 月 10 日	0%	新築・修繕・増築	
宮城学院高等女学校	仙台市東三番丁 166	昭和 20 年 7 月 10 日	0%	新築	大講堂を除く

注：残存比率は、被災前の総坪数のうち、まったく被害を受けなかった坪数の割合を指します。

仙台空襲による私立学校の被災状況

「梅檀中学」を除く 6 校は、空襲被害範囲内に所在した学校です。

今回は、学徒動員と私立学校の戦災復興について紹介しましたが、これらに限らず、終戦によってこれまでの軍国主義に基づいた教育姿勢はことごとく否定され、連合軍の占領下にあつては、戦争に積極的に協力した者などが不適格とされて多くの教員が教壇から追放されるとともに、昭和 22 年 (1947) 3 月には教育基本法が公布され、これを起点として新たな教育制度 (6・3・3・4 制) が開始されるなど、めまぐるしく変化する中で学生・生徒は再び教育を受けることとなったのでした。

ワークス

当館収蔵資料の検索方法

専門調査員 松岡 祐也

当館を初めて利用される方からは、時折「〇〇について調べているが、公文書館には何か資料がないか」との質問を受けることがあります。当館では職員が資料を探す代行は行っておらず、利用者ご自身に各種収蔵資料目録から資料を探していただくこととなっています。しかし、初めての方にはどのような目録があり、目録をどう使って探せばよいのか分からないこともあると思います。

そこで今回は、当館の収蔵資料を検索する方法について、目録の種類別にご紹介します。

宮城県公文書館閲覧台帳

宮城県公文書館閲覧台帳は紙に印刷した目録をドッジファイルに綴ったもので、当館では年代別と分類別の2種類を閲覧室に用意しています。年代別は明治元年から年度順に、分類別は資料の分類ごとに印刷されています。この台帳では、所属年度や資料名から目的の資料を探していただくことになります。

ただし、この台帳には資料内容の記載はありません。また、資料によっては含まれる文書の作成年度の幅が所属年度よりも広いことがあります。調べたい年度・事項は限定せず

に、前後の年代や関連しそうな言葉を含む資料名を探すと、目的の資料を見つけることができるかもしれません。調べたい年代が特定されている方は年代別を、調べたい事項の分類が判別できている方は分類別の閲覧台帳をご覧になるとよいでしょう。

また、当館で収蔵する絵図面の目録として、「宮城県公文書館絵図面台帳」が用意されています。絵図面台帳にはマイクロフィルムの番号や、カラーコピー・デジタルデータの存否を掲載しています。絵図面はマイクロフィルムかカラーコピーでの閲覧となりますので、こちらの台帳でご確認ください。

宮城県公文書館資料検索システム

宮城県公文書館資料検索システムは、閲覧室に設置しているパソコンを使い収蔵資料を検索するものです。当館では、マイクロソフト社のデータベース作成ソフト「アクセス」を用いています。

資料検索システムには、文字検索と分類別検索の2種類が用意されており、どちらの検索でも検索する年度を絞ることが可能です。文字検索はキーワードを入力し、そのキー

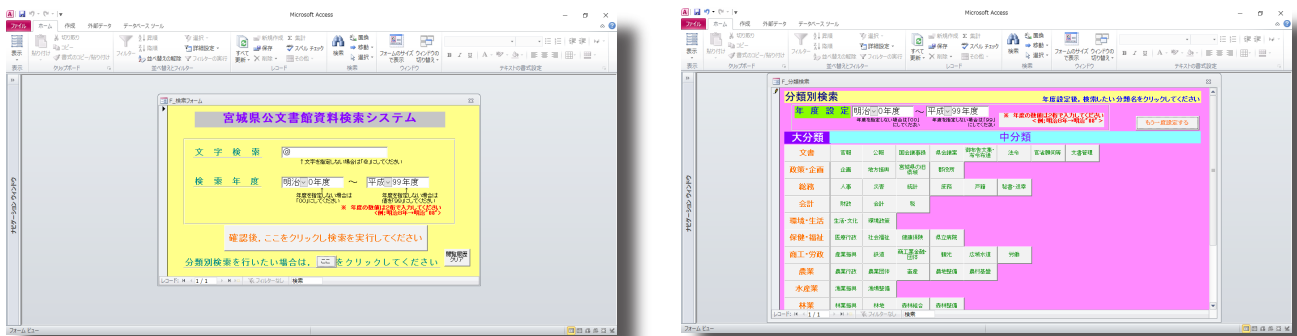


宮城県公文書館閲覧台帳
(左：年代別、右：分類別)

ワードに関する資料を検索することができるもの、分類別検索は各分類に含まれる資料を検索することができるものとなっています。

資料検索システムのうち文字検索は、検索対象に資料名だけでなく資料内容も含まれている点が特徴です。資料内容まで検索ができることにより、収蔵資料の検索の幅が広がり、資料名だけでは検索の難しい地域名の検索も可能となります。明治時代の村など地域のことを調べたい方は、こちらの資料検索システムを利用してみてください。

なお、文字検索では検索可能なキーワードが1語のみである点、分類別検索ではキーワードによる絞り込みを行うことができない点に、注意が必要となります。また、資料検索システムは登録可能な文字数に制限があるため、表示される資料内容は資料全体の一部となっています。検索される際には、これらの点をご留意ください。



宮城県公文書館資料検索システム（左：文字検索画面、右：分類別検索画面）

閲覧室に設置しているパソコンでは、常に宮城県公文書館資料検索システムが開いた状態になっています。通常は、文字検索画面が開いており、画面下部のボタンをクリックすることで、分類別検索画面が開くようになっています。

ご自宅で検索したい方は

当館のホームページには、収蔵資料検索のページがあります (<https://pref.miyagi.jp/soshiki/koubun/siryoukensaku.html>)。このページからは、マイクロソフト社の表計算ソフト「エクセル」を用いた目録ファイルをダウンロードすることができ、当館で公開している収蔵資料をご自宅で検索することができるようになっています。

この目録は年代別に作成されており、明治の資料のみを検索するといったことが容易に行えます。またホームページ上の目録には資料名だけでなく、資料内容の項目も存在していますので、資料検索システムと同じように、資料内容も含めた検索を行うことができます。

来館前に収蔵資料を調べておきたい方、当館にはどのような資料が収蔵されているのか興味のある方は、ぜひ利用してみてください。

収蔵資料の検索で、調べたい事項が見つからない場合があると思います。しかし、ちょっとしたコツを駆使すると検索にかかることがあります。もし収蔵資料の検索で不明なことがあれば、遠慮なく当館職員に声をかけてください。

知っ得！情報

◆ デジタルデータの頒布 ◆

絵図面のデジタル画像データの頒布を行っております。

CD-R 焼付のみでの頒布となります（1枚につき5点まで 1枚40円）。令和3年（2021）4月から利用可能なデータが70件増えて、1,417件になります。ふるってご活用下さい。



絵図面（宮城郡松島村）【V - 390】

宮城県公文書館だより 第41号
令和3年（2021）3月27日 発行

編集・発行 宮城県公文書館

〒981-3205 宮城県仙台市泉区紫山1-1-1

電話 022 (341) 3231 Fax 022 (341) 3233

e-mail koubun@pref.miyagi.lg.jp

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/koubun/>

